



市議会だより

令和7年 第4回定例会



● 黄金山水天宮虎舞会（横田町）

岩手県陸前高田市議会

● 編集／議会だより編集小委員会

No.135

発行日
令和8年1月14日

令和7年度

一般会計補正予算案（第4号、第5号）

総額 9億7917万円を追加し
186億9687万円

令和7年第4回定例会提出議案

(条例8件、補正予算9件、請願1件、発議1件、その他4件)

議案1 岩手沿岸南部広域環境組合規約の一部変更の協議について

岩手沿岸南部クリーンセンターの設備改良事業を行うため、組合を構成する市町の負担割合を規約に追加するもの。

議案2 損害賠償の額を定めることについて

議案3 陸前高田市体育交流施設の指定管理者の指定について

議案4 陸前高田市民文化会館の指定管理者の指定について

議案5 陸前高田市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

横田コムセンの改修に伴い、その使用料を改正しようとするもの。

議案6 陸前高田市社会福祉施設等の人員、設備、運営等の基準等に関する条例の一部を改正する条例

こども誰でも通園制度の開始に伴う改正。

議案7 陸前高田市医師養成奨学資金貸付条例の一部を改正する条例

奨学資金返還に係る利息と延滞利息の廃止等に伴う改正。

議案8 陸前高田市市営住宅条例の一部を改正する条例

議案9 陸前高田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

機能別消防団員制度の導入に伴う改正。

指定管理者を可決

陸前高田市体育交流施設（夢アリーナたかた、高田松原運動公園等）→NPO法人陸前高田市スポーツ協会

陸前高田市民文化会館（奇跡の一本松ホール）→（株）共立ソリューションズ

議案に対する議員の賛否

【採決状況一覧】

※「○」は賛成、「×」は反対、「議」は議長のため採否に参加せず。																
佐々木良麻	菅野秀一郎	小林卓	木村聰	大和田加代子	中野貴徳	伊勢純	佐々木一義	大坂俊	菅野広紀	大坪涼子	福田利喜	藤倉泰治	伊藤明彦	鵜浦昌也	及川修一	
議案第1～21号	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第5号	×	×	○	×	×	欠	×	×	○	○	×	×	×	×	×	議
発議第8号	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

令和7年第4回定例会は、11月28日から12月12日までの会期で行いました。ふるさと納税寄付金2億円増を含む令和7年度一般会計（9億7917万円を追加し、総額186億9687万円）など補正予算案9件、条例案8件、その他4件を、いずれも全会一致で可決・承認しました

今定例会では、深刻化するクマ出没への対応について議論するため、「クマ出没から市民の命と暮らしを守ることについて」をテーマに3常任委員会による連合審査会を開きました。その結果、「ツキノワグマ等の被害防除対策を求める意見書」を取りまとめ、県への提出を全会一致で可決しました。（3ページ参照）

一般質問には11人の議員が登壇し、クマ対策をはじめ、脱炭素先行地域計画や市長公約など、市政全般にわたり議論を交わしました。

今回新たに陸前高田市体育交流施設を民間に委託する指定管理者の指定が提案され、可決しました。

また、地域防災力強化のため、機能別消防団員制度を導入する条例改正などが議論され、可決しました。

【一般会計の主な補正予算項目】

歳入（収入）

（万円未満切り捨て）

項目	補正額	補正の理由
ふるさと納税寄付金	2億円	寄付額の増

歳出（支出）

項目	補正額	補正の理由
物価高騰対策障がい福祉サービス事業所支援事業費	265万円	障がい福祉施設への支援金
物価高騰対策介護サービス事業所支援事業費	515万円	介護施設への支援金
公共土木施設単独災害復旧事業費	3850万円	9月4～5日の大雨災害に係る災害復旧工事費
道路橋梁単独災害復旧事業費	7150万円	9月4～5日の大雨災害に係る災害復旧工事費

請願審査

請願第5号「『陸前高田市景観条例』の見直しについて」は、産業建設常任委員会に付託され、審査を経て12月12日の本会議に諮りました（14ページ参照）。

採決の結果、賛成少数で不採択としました。

請願	請願の趣旨	結果
「陸前高田市景観条例」の見直しについて	同条例による規制のため、ソーラーシェアリング事業の進展に支障が出ると考えられるので全面的な見直しの検討を求めます。	不採択

討論=賛成 小林卓
将来のまちづくりに必要な問題提起として賛成。

討論=賛成 大坂俊
当局が条例の見直しを明確しているため、請願内容と整合している。

討論=反対 佐々木良麻
主張の前提となる事実関係に誤りがあり、不採択とすべき。



藤倉泰治
(日本共産党)

大学誘致の公約は

「達成」をいったん取り消す



こちらから視聴できます

問 公約に掲げた大学誘致に
関し、市長は10月の記者
懇談会でフィールドワークなど
で市外の大学生を市内に呼び寄
せることで公約を達成したと理
解しているという趣旨の発言を
したようだが、その真意は。

答 私の一方的な思いを発言
してしまい、誠に申し訳
なかつたと思っており、いつた
ん取り消したい。

問 当時の選挙公報には「陸
前高田に大学を誘致す
る」とあり、市民は「大学を建
てる」とが誘致と捉えている
と思う。市長の受け止めは。

答 市民にはそういう意見
があると思う。今考える
と選挙時に、細かいことまで説
明できなかつた。今後とも丁寧
に説明したい。



最大80万円を補助する
新エネルギー助成



佐々木 良麻
(とうほく未来創生)

脱炭素計画の現状は



こちらから視聴できます

問 5年間にわたり、温室効
果ガス排出削減に取り組
む「脱炭素先行地域計画」の現
状はどうか。

答 物価高騰や社会情勢によ
り、民間事業者が実施す
る一部事業に当初計画通りの進
展が難しくなっている。

問 計画に盛り込まれている
新エネルギー設備導入促
進事業助成制度の活用が進んで
いないことが報じられている。
今後の対応は。

答 新ストーブなどの設置に
ついては、10件の予算計
上に対して8件申請があつた。
一方で、住宅用太陽光発電に
ついては40件の予算計上に対し
て、20件の申請だった。次年度
は、積極的な周知と、より活用
される方法を検討していく。



最大80万円を補助する
新エネルギー助成

物価高騰で一部に遅れ
クマ対策は

答 申請前に業者との契約を
結んでいたことで受理で
きなかつた事例があつた。

問 クマ出没時の学校への送
迎支援に対する考え方はどう
うか。

答 バス停や学校までの送迎
は、保護者の協力を得て
いる。送迎が困難な家庭もある
ことから、タクシーなどの通学
支援が可能かを検討する。



木村 聰
(とうほく未来創生)

保育料の段階的無償化は 検討する時間が必要だ



こちらから視聴できます

問 夜間の交通体制見直しは
夜間の経済活性化に向
け、運転代行業の支援に
向けた検討は。

答 学び直しと再就労は所得
向上に寄与すると認識してい
る。性別に限らず資格取得支援
事業を行つており、情報を把握
し、拡充を検討する。



子育ての経済負担軽減へ

答 現行交通で対応可能と考
えている。

問 移動需要に対応している
とは言い難い。ホテル建
設もあり、準備をするべきでは
いく。

答 夜間の経済活動は重要。
商工会や観光物産協会と
連携し、主導的に協議を進めて
いく。

問 本市からの転出者に市の
情報をお伝えなど、関わ
りを続ける工夫が必要では。
制度も踏まえ、速やかに検討を
進める。

答 有意義と認識しており、
実務負担や他の事例・国
制度も踏まえ、速やかに検討を
進める。



木村 聰
(とうほく未来創生)

保育料の段階的無償化は 検討する時間が必要だ



こちらから視聴できます

問 生活支援員の継続は
はと危惧している。市の考えは。
市では国事業を活用し、
相談支援事業の来年度実
施を検討している。

答 本丸公園から指定避難所
への避難路は草木が繁茂
している。早急な対策は。
持管理に努めていきたい。

問 今後も市民が安全に、安
心して利用できるよう維
持管理に努めていきたい。

答 本丸公園へ向かう避難路
の比較をはじめ、今後の施設更
新への影響を考慮すると、将来
施設整備の要望がある。
その中で、未給水地区住民の水
道料金収入と管路の延伸や拡張、
ポンプ施設の増設にかかる費用
の比較をはじめ、今後の施設更
新への影響を考慮すると、将来
施設整備の要望がある。
その中で、未給水地区住民の水
道料金収入と管路の延伸や拡張、
ポンプ施設の増設にかかる費用
の比較をはじめ、今後の施設更
新への影響を考慮すると、将来
施設整備の要望がある。

本丸公園へ向かう避難路



こちらから視聴できます



菅広紀
の野

未給水地区の解消は 新施設整備は原則行わない



こちらから視聴できます

問 上水道の未給水地区解消
に向けた施設整備の見通
はどうか。

答 市政懇談会などで上水道
施設整備の要望がある。
その中で、未給水地区住民の水
道料金収入と管路の延伸や拡張、
ポンプ施設の増設にかかる費用
の比較をはじめ、今後の施設更
新への影響を考慮すると、将来
施設整備の要望がある。

問 100万円に増額して、補助を
手厚く拡充した。

答 の、市としては整備しな
いと聞こえるが、工事費の見込
み額はどのくらいか。

問 横田町内に限つて試算し
た結果、約20億円となっ
てている。

答 に對し、飲用水等給水施設整
備費補助金を交付している。本
年度から限度額を80万円から
100万円に増額して、補助を
手厚く拡充した。

問 横田町内に限つて試算し
た結果、約20億円となっ
てている。

答 、市としては整備しな
いと聞こえるが、工事費の見込
み額はどのくらいか。

問 横田町内に限つて試算し
た結果、約20億円となっ
てている。



安定供給が課題の自家水源（横田町）

教育民生

調査テーマを決定

教育民生常任委員会は、10月20日に今後2年間の調査テーマについて協議しました。その結果、昨年9月に委員会発議により制定された「陸前高田市こども基本条例」を基盤とし、総合的な視点から政策提言につなげていくため、「こどものウェルビーイングの向上」を調査テーマとして位置付け、取り組みを進めていくこととしました。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指し、短期的な幸福感にとどまらず、生きがいや人生の意義といった将来にわたる持続的な幸福を含む概念とされています。今後は、こどもを取り巻く環境を幅

所管事務調査

- 10/20 所管事務調査重点項目（テーマ）について
- 11/28 会期中の所管事務調査について
管外行政視察について
- 12/9 本市における部活動地域移行の現状と課題について

所管事務調査

12月9日には、本市における部活動の地域移行の現状と課題について所管事務調査を実施し、千葉達教育次長、吉田亜矢子学校教育課長、高橋純基主任主事から説明を受けました。

本市では、令和10年度以降の完全地域移行を目指し、段階的な移行に取り組んでおり、先行して移行が可能な種目から実施し、その成果と課題を検証していくことが示されました。



部活動地域移行について説明を受ける

いことが報告されました。今回の調査を踏まえ、他市事例の把握や保護者との意見交換などを行なが
ら、課題整理に向けた検討を進めていくこととしています。

委員長	麻子卓喜一
副委員長	良涼利修
木	木坪林田川
佐	佐々木大福及
々	小

「脱炭素先行地域」の説明を受ける

「脱炭素先行地域」とは、農漁村等の地域課題を解決しながら脱炭素の取り組みを進める地域のことです。本市は令和6年9月に環境省から選定を受けました。総事業費は約58億200万円で、このうち国の交付金が34億6600万円、市一般財源が1億1700万円、民間事業者資金等21億2400万円などで、本市室長と松木翔係長から現状説明を受けました。

総務常任委員会は、向こう2年間の調査テーマとして「エネルギーについて」と「防災のまちづくり」を掲げています。そこで、12月9日に市役所で「脱炭素先行地域の計画概要と進ちょく状況」について、市企画部脱炭素推進室の大友真也室長と松木翔係長から現状説明を受けました。

「脱炭素先行地域」は、農漁村等の地域課題を解決しながら脱炭素の取り組みを進める地域のことです。本市は令和6年9月に環境省から選定を受けました。

総事業費は約58億200万円で、このうち国の交付金が34億6600万円、市一般財源が1億1700万円、民間事業者資金等21億2400万円などで、本市室長と松木翔係長から現状説明を受けました。

所管事務調査

- 10/20 任期中の調査テーマについて
- 11/25 管外行政視察について
- 11/28 会期中の所管事務調査について
- 12/9 脱炭素先行地域の計画概要と進ちょく状況について



メタン発酵の実証実験
(ワタミオーガニックランド内)

が投資している陸前高田しみんエネルギー（株）が推進役を担います。現在、津波被災跡地の有効活用を兼ねた富農強化型太陽光発電としてワタミオーガニックランドでソーラーシェアリング方式による醸造用ブドウ栽培が進行しているほか、同じ敷地内で家庭系・事業系生ごみや下水汚泥を処理するメタン発酵バイオガス発電に向けた実証試験中で、その消化液は農業肥料に活用されます。

今後、横田町の3カ所で小水力発電が行われる予定になっているほか、木質バイオマス事業として新設ホテルに薪ボイラー設備も導入されます。

今後の課題は市民の理解や協力のほか、電気保安人材の育成などがあり、委員会



「脱炭素先行地域」の説明を受ける

としても現地調査や視察などを行つていてことを確認しました。

委員長	泰一	治義
副委員長	佐々木	紀彦
	倉木	也
	野藤	泰一
	藤浦	廣明

岩手県市議会議長会研修会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。



講演する中村氏

木村氏は、自然が豊か、食べ物がおいしい、人が温かいという、三本柱の「田舎の魅力」が移住前に抱いていた感覚をはるかに上回り、三本柱の一つ一つが想像以上に太く感じられたなどと体験談に触れながら岩手の魅力についてユーモアを交えて話しました。

第一部は「移住して発見した岩手の魅力。三本柱で幸福感、あると思います！」と題し、いわて応援芸人の天津木村氏が講演しました。

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。



講演する中村氏

maniken 代表理事の中村健氏が講演しました。

中村氏は、行政が予算主義になることで前例踏襲が起こりやすく、事業の優先順位づけが困難になると指摘。その上で、議会の役割は「本当に必要なかを探究すること」と説明し、議員が質的変化のチェックに取り組む重要性について強調しました。

気仙沼市と一関市、本市の3市議会による議員研修会は11月21日、気仙沼市役所魚市場前庁舎で行いました。

研修会は、さまざま分野で深い関わりを持つ県際3市の市議会議員が、相互に交流しながら共に学び、地域の発展に寄与することを目的に毎年のように開いています。

今回は、「気仙沼市のふるさと納税の取り組みについて」と題し、けせんぬま創生戦略室室長補佐兼ふるさと納税係長の尾形庄衛氏が講話しました。

尾形氏は、寄付額が令和6年度まで3年連続東北1位となり、昨年1年間だけで121億円となつた取り組みについて説明。返礼品の取扱事業者と返礼品の数を増やすため、自ら現場に足を運び、実績を伸ばしたことを強調しました。

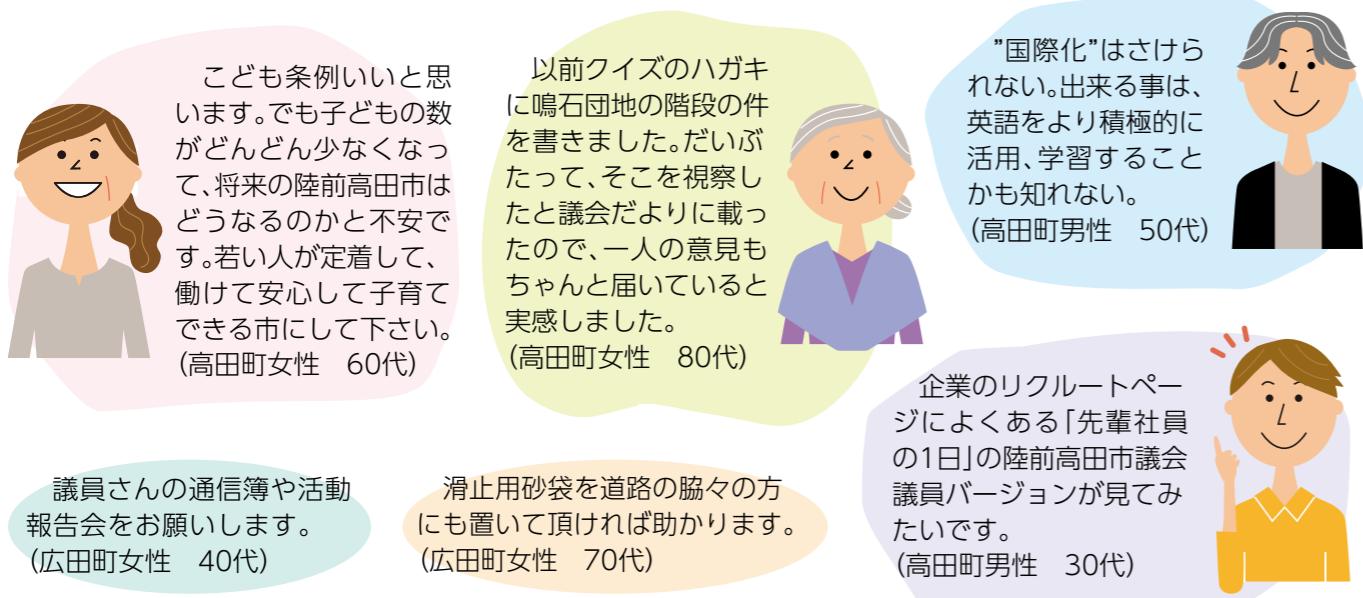


気仙沼市からふるさと納税の取り組みを聞く



議会と市民の交流コーナー

市議会では、広くご意見をうかがうため、市民のみなさまへクイズを出しています。第134号のクイズの答えとともに寄せられたご意見の一部を紹介します。



◎議会だよりクイズ

○の中にはどんな漢字が入るでしょうか？



りくぜんたかた市議会だより第135号の表紙は
○○町の黄金山水天宮虎舞会です。

応募方法

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL こちらのメール送信フォームをご利用ください。

しめきり 令和8年2月13日(当日消印有効)



議会だより第134号クイズの答え

○の中にはどんなひらがなが入るでしょうか？



answer

こども



市内各地で行われた悪魔祓い行事。議会
だより編集小委員会では米崎町脇の沢地区
と横田町第4区を取材してきました。

在京陸前高田人会

ふるさとのつどい

関東周辺の本市出身者らで組織する在京陸前高田人会の第37回ふるさとのつどいは11月23日、東京都上野の東天紅で行われました。ステージではお楽しみ抽選会や歌謡ショーが賑やかに繰り広げられ、参加者同士が和やかに親睦を深めました。

会場には、約150人の出身者らが駆けつけ、本市からは石渡史浩副市長をはじめ、市議会の及川修一議長ほか議員4人、伊東孝商工会長らが出席しました。開会式で、在京人会の新しい会長に就任した及川志郎さん(広田町出身)は、「この会は、昭和61年に創立し、来年で40周年を迎えます。今まで続けてこれたのは諸先輩方の尽力と会員相互の協力の賜物。本日はスクリーンに映し出される故郷の懐かしい映像を眺めながら楽しいひと時を」とあいさつ。



ふるさとの話題で盛り上がった
在京陸前高田人会

会場入り口では、本市の海産物を原料にした数々の加工品をはじめ、がんづきやゆべしといった菓子類などが販売され、故郷から持ち込まれた特産品が完売する人気を集めました。

ジングルトリップ・ビューローの村上清代表の音頭で乾杯。懇親の部ではマスクコットキャラクター・たかたのゆめちゃんが登場し、本市の特産品が当たるお楽しみ抽選会に歓声が上がりました。

令和7年10月以降に市当局から提出された案件をお知らせします。

●10月20日

○陸前高田市過疎地域持続的発展計画(素案)に係るパブリックコメント実施について
○水道事業経営戦略の改定について

○令和7年度陸前高田市津波避難等訓練の実施について
○青森県東方沖地震による津波警報及び北海道・三陸沖後発地震注意情報への対応状況について

全員協議会

議会からも熱いエールを送る

10月20日の全員協議会では、ワールドシリーズへ臨む本市出身のメジャーリーガー佐々木朗希選手を応援しようと、ロサンゼルス・ドジャースのチームカラーで作った応援ポロシャツを着て会議に臨みました。

市役所庁舎にも応援横断幕が掲げられていますが、この日は議会からも熱いエールを送りました。



応援ポロシャツで会議に臨む

議会の動き



Check!

10月 October

- 2日 行政視察（宮崎県門川町議会）/ 行政視察（千葉県香取市議会、神崎町議会）
- 4日 赤い羽根共同募金活動
- 7日 行政視察（宮崎県串間市議会）
- 8日 議会だより編集小委員会
- 9日 市民と語る小委員会 / 行政視察（茨城県ひたちなか市議会）/ 行政視察（神奈川県大井町議会）
- 13日 市スポーツ協会設立70周年記念式典式典（議長）
- 14日 議会運営委員会 / 議会だより編集小委員会
- 15日 行政視察（鹿児島県市議会議長会）
- 17日 行政視察（新潟県十日町市議会）
- 20日 全員協議会 / 広聴広報特別委員会 / 各常任委員会 / 議会だより編集小委員会
- 21日 戦没者追悼式
- 23日 行政視察（高知県室戸市議会）
- 25日～26日 市産業まつり（議会ブース出展）
- 26日 第19回横田あゆの里まつり（議長）
- 28日 議会だより編集小委員会
- 29日 いわての地域づくり道づくりを考える大会（議長）/ 行政視察（東京都大田区議会）
- 30日 行政視察（千葉県袖ヶ浦市議会）
- 31日 市民と語る小委員会 / 沿岸広域振興局大船渡各センター所長等との情報交換会

11月 November

- 6日 市勢功労者表彰式 / 議会だより編集小委員会 / 行政視察（石川県金沢市議会）
- 7日 行政視察（長野県伊那市議会）
- 9日 災害初期対応訓練 / 秋季消防演習
- 12日 市老人クラブ連合会芸能発表会（議長）
- 15日 気仙芸術祭第38回美術展開会式（議長）
- 17日 岩手・宮城県際市町議会議長会 要望活動（議長）
- 18日 気仙地区議会議員協議会対県要望（正副議長）
- 19日 岩手県市議会議長会議員研修会
- 20日 全員協議会 / 市民と語る小委員会 / 産業建設常任委員会
- 21日 陸前高田市議会・一関市議会・気仙沼市議会議員交流会
- 22日 陸前高田市福祉大会（議長）/ 陸前高田商工会優良従業員表彰式（副議長）
- 23日 在京陸前高田人会
- 25日 議会運営委員会 / 会派代表者会 / 総務常任委員会
- 28日 本会議 / 全員協議会 / 広聴広報特別委員会 / 各常任委員会 / 議会だより編集小委員会
- 29日 奥州市市制施行20周年記念式典（議長）

12月 December

- 1日 民生委員児童委員協議会臨時総会（副議長）
- 2日 本会議（一般質問）
- 3日 本会議（一般質問）
- 4日 本会議（一般質問）/ 予算等特別委員会
- 5日 予算等特別委員会
- 8日 総務・教育民生・産業建設常任委員会連合審査会 / 議会だより編集小委員会
- 9日 各常任委員会
- 10日 各小委員会
- 12日 本会議 / 全員協議会
- 15日 議会だより編集小委員会
- 19日 議会だより編集小委員会
- 22日 総務常任委員会
- 23日 市民と語る小委員会
- 25日 議会だより編集小委員会
- 26日 沿岸都市議会連絡会議対県要望（議長）

第23回

★市内の団体や個人を紹介します。

がんばってます!!

◆菊池畠店

きくちさやかさん
3.5代目 菊池沙也加さん

菊池沙也加さん（37）は、高田町で3代続く製畠業を営む家に生まれた生粋の高田っ子。約10年前に家業を継ぐことを決心し、現在は竹駒町上壺にある仮設だった店舗でそのまま営業を続けています。仕事と子育てを両立している3女1男のお母さんにスポットを当てました。



家業を継ごうと思ったのは、当時、アルバイト先の店主に相談をし、勧められたというのもありました。が、本来継ぐはずだった兄（勇輝さん）を震災で亡くし、自分と家業の将来を考えて決断しました。そんな経緯もあり

あり兄が「3代目」で、自分は「3.5代目」と思っています。父（純一さん）のもと、仕事を覚え、日々製畠業に勤しんでいます。主に個人の畠の入れ替えが多いのですが、総じて畠の需要自体が減り、市内の同業者も減る一方なので、不安もあります。しかし、自分なりにイ草を使った小物雑貨を作つてイベント等への出店、販売をすることや、他業種とつながりを持つことで、畠の良さを広げたいと思っています。

子育てについては、父母の力も借りながらですが、育児を始めた7年前より保育環境がだいぶ良くなっていると思います。送り迎えは相変わらずたいへんですけど…。



★畠縁製ブックカバー

議会へひとこと

もっと市内のこども（人口）を増やす手立てをしっかりと考えて欲しい。一番下の子の同級生が市内で49人しかいません。自分のこどもだった頃と比べると、ちょっと寂しい。知恵やアイディアを出し合い、陸前高田の将来に向けた考えをつくっていってもらえることを願っています。

15年後の被災地に住むものとして、これからまちについて語り合いませんか。二度と来なまちづくりにいかしていきましょう。（大和田加代子）

今日という日は二度と来ない二度と来ない毎日来る星野富弘

「今日という日」より

寒が明け、虫たちが動き出す東日本大震災から15年を迎えます。誰にも平等に与えられた身は千差万別。一つとして同じものはありませんし、一人ひとりの行動の結果として今のまちがあるのだと思います。

